

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-149992
(43)Date of publication of application : 24.05.2002

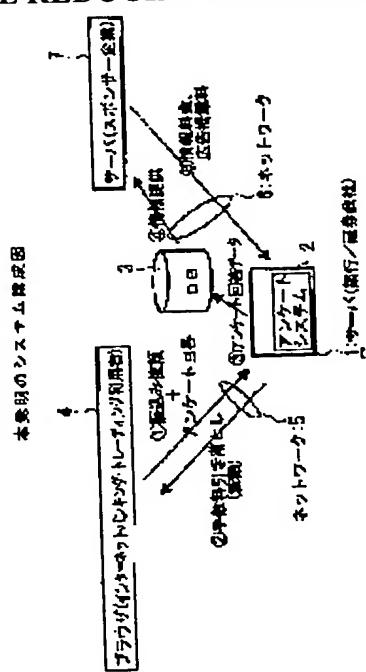
(51)Int.CI.

G06F 17/60

(21)Application number : 2000-342805
(22)Date of filing : 10.11.2000

(71)Applicant : FUJITSU LTD
(72)Inventor : KATO KOICHI

(54) FEE REDUCING METHOD AND RECORDING MEDIUM



(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a fee reducing method for reducing a fee and a recording medium, allowing efficient collection of personal information by reducing the fee if selecting a questionnaire during home banking or trading.

SOLUTION: The fee reducing method comprises the step of displaying the fee and the questionnaire during requesting procedures, the step of inputting or selecting contents of the displayed questionnaire, the step of determining the reduction of the fee or the rate of reduction on the basis of the input or selected questionnaire and the step of calculating the fee after reduction on the basis of the determined reduction or rate of the reduction, and the recording medium.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision]

of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-149992

(P2002-149992A)

(43)公開日 平成14年5月24日 (2002.5.24)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	マーク ⁸ (参考)
G 0 6 F 17/60	2 3 4	G 0 6 F 17/60	2 3 4 Z 5 B 0 4 9
	Z E C		Z E C 5 B 0 5 5
	1 5 2		1 5 2
	2 1 0		2 1 0
	2 3 2		2 3 2

審査請求 未請求 請求項の数 5 O.L. (全 8 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願2000-342805(P2000-342805)

(22)出願日 平成12年11月10日 (2000.11.10)

(71)出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
1号

(72)発明者 加藤 鉄一

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
1号 富士通株式会社内

(74)代理人 100089141

弁理士 岡田 守弘

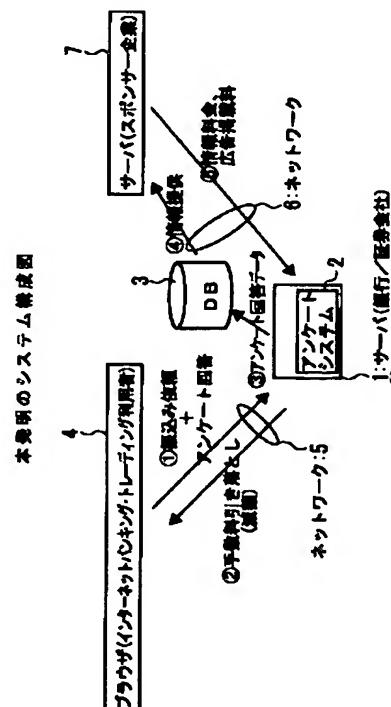
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 手数料減額方法および記録媒体

(57)【要約】

【課題】 本発明は、手数料を減額する手数料減額方法および記録媒体に関し、ホームバンキングやトレーディングなどをするときにアンケート選択すると手数料を減額して個人情報の効率的な収集を実現することを目的とする。

【解決手段】 処理依頼したときの手数料およびアンケートを表示するステップと、表示されたアンケートの内容について入力あるいは選択するステップと、入力あるいは選択されたアンケートをもとに手数料の減額あるいは減額割合を決定するステップと、決定された減額あるいは減額割合をもとに、減額後の手数料を算出すステップとを有する手数料減額方法および記録媒体である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】手数料を減額する手数料減額方法において、アンケートを表示するステップと、上記表示されたアンケートの内容について入力あるいは選択するステップと、上記入力あるいは選択されたアンケートをもとに、手数料の減額あるいは減額割合を決定するステップと、上記決定された減額あるいは減額割合をもとに、減額後の手数料を算出すステップとを有する手数料減額方法。

【請求項2】上記表示されたアンケートについて入力あるいは選択する代わりに、アンケート一覧から任意のアンケートを選択して表示されたアンケートの内容について入力あるいは選択するステップを有する請求項1記載の手数料減額方法。

【請求項3】上記アンケートの内容の履歴を保存し、未選択のアンケートのみ選択して表示可能にする請求項1あるいは請求項2記載の手数料減額方法。

【請求項4】上記アンケートの内容に応じて減額あるいは減額割合を設定したテーブルを設け、上記入力あるいは選択されたアンケートについて上記テーブル中のアンケートに対応する減額あるいは減額割合を取り出して、減額後の手数料を算出す請求項1から請求項3のいずれかに記載の手数料減額方法。

【請求項5】アンケートを表示する手段と、上記表示されたアンケートの内容について入力あるいは選択する手段と、上記入力あるいは選択されたアンケートをもとに、手数料の減額あるいは減額割合を決定する手段と、上記決定された減額あるいは減額割合をもとに、減額後の手数料を算出す手段として機能させるプログラムを記録したコンピュータ読み取可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、手数料を減額する手数料減額方法および記録媒体に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、インターネットバンキングやトレーディングを行うホームページの画面をユーザがパソコンのブラウザの画面上に表示し、ユーザはユーザIDおよびパスワードを入力して自身のページを表示させ、各種バンキングやトレーディングを行っている。また、ホームページなどの画面の左端や右端などにスポンサー企業の広告が表示されていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上述したように、従来のインターネットなどのホームページの画面上には、バンキングやトレーディングを行うことと、スポンサー企業の宣伝を掲載して当該宣伝の部分をクリックすると当該スポンサー企業のホームページにジャンプしてアンケ

ートに回答したら景品を贈りするという程度のものであり、更者が日々に管理されており、ユーザにとってメリットが乏しく、一方、スポンサー企業にとってアンケートなどしてユーザ個人情報を効率的に収集し得ないという問題があった。

【0004】本発明は、これらの問題を解決するため、ホームページやトレーディングなどをするとときにアンケート選択すると手数料を減額して個人情報の効率的な収集を実現することを目的としている。

10 【0005】

【課題を解決するための手段】図1を参照して課題を解決するための手段を説明する。図1において、サーバ1は、銀行や証券会社などの各種サービスを提供するサーバであって、ここでは、アンケートシステム2などから構成されるものである。

【0006】アンケートシステム2は、アンケートに答えると手数料を減額したりなどするものである。ブラウザ4は、ネットワーク5を介して接続した顧客のパソコン上で動作するブラウザである。

20 【0007】次に、動作を説明する。サーバ1を構成するアンケートシステム2が顧客のブラウザ4上に画面を表示させ、ブラウザ4の画面上に表示させた各種サービス内容と併せて表示させアンケートの内容について顧客が入力あるいは選択すると、入力あるいは選択されたアンケートをもとに、サービスに対する手数料の減額あるいは減額割合を決定し、決定された減額あるいは減額割合をもとに、減額後の手数料を算出して表示などするようしている。

30 【0008】この際、表示されたアンケートについて入力あるいは選択する代わりに、アンケート一覧から任意のアンケートを選択して表示されたアンケートの内容について入力あるいは選択するようしている。また、アンケートの内容の履歴を保存し、未選択のアンケートのみ選択して表示し、この中から選択せるようしている。

【0009】また、アンケートの内容に応じて減額あるいは減額割合を設定したテーブルを設け、入力あるいは選択されたアンケートについてテーブル中のアンケートに対応する減額あるいは減額割合を取り出して、減額後の手数料を算出すようしている。

40 【0010】従って、ホームページやトレーディングなどをするとときにアンケート選択すると手数料を減額して個人情報の効率的な収集を実現することが可能となる。

【0011】

【発明の実施の形態】次に、図1から図6を用いて本発明の実施の形態および動作を順次詳細に説明する。図1は、本発明のシステム構成図を示す。

【0012】図1において、サーバ1は、プログラムに従い各種処理を行うものであって、ここでは、銀行や証

3

券会社などの各種サービスを提供するサーバであり、アンケートシステム2などから構成されるものである。アンケートシステム2は、各種サービスを提供するときに支払う必要のある手数料について、アンケートに答えると手数料を減額したりなどするものである(図2から図6を用いて後述する)。

【0013】ブラウザ4は、顧客がパソコンなどにインストールして起動し、ネットワーク5を介してサーバ1に接続し、ホームページをダウンロードして表示したりなどするものである。ネットワーク5は、顧客のブラウザ4とサーバ1とを接続して相互にデータの授受を行うためのものであって、インターネットなどのネットワークである。

【0014】DB(データベース)3は、サーバ1のアンケートシステム2が収集したアンケート内容(顧客の個人情報、動向情報)などを蓄積するものである。ネットワーク6は、サーバ1と、スポンサ企業のサーバ7と接続して相互にデータの授受を行うネットワークである。

【0015】次に、図1中の■から■の順番に全体の動作を説明する。図1において、■は、顧客がブラウザを作成する。■は、顧客がネットワーク5を介してサーバ1に接続し、ホームページなどをダウンロードして自己の画面に表示し、例えば銀行の振込み依頼を行うと共に、同じ画面上にあるアンケートを選択してアンケート回答する。

【0016】■は、■で顧客がアンケート回答したことで手数料が減額されて引き落とされる。■は、■の顧客からのアンケート回答がDB3にアンケート回答データとして蓄積する。

【0017】■は、DB3に蓄積された顧客からのアンケート回答データがスポンサー企業のサーバ7にネットワーク6を介して送信する。■は、■でアンケート回答データを送信したことに対応して、スポンサー企業のサーバ7から情報料金、広告掲載料が送金され、サーバ1が受け取る。

【0018】以上のように、サーバ1で銀行や証券業務でサービスを提供したときに発生する手数料について、同じページに表示されているアンケートに顧客が回答すると、手数料を減額して顧客の口座などから引き落とすと共に、アンケート回答データをスポンサー企業のサーバ7に送信し、情報料金および広告掲載料をサーバーが受け取ることが可能となる。以下順次詳細に説明する。

【0019】次に、図2のフローチャートの順番に図1の構成の動作を詳細に説明する。図2は、本発明の動作説明フローチャートを示す。図2において、S1は、終了か判別する。これは、後述する図3の(a)の顧客がサーバ1からダウンロードしてブラウザ4で表示した画面上で、終了を選択したか判別する。YESの場合には、終了する。NOの場合には、S2に進む。

【0020】S2は、サービスメニューの表示を行う。

10

20

30

40

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

50

ことが可能となる。

【0037】図5の(b)は、回答履歴テーブルの例を示す。回答履歴テーブル12は、利用者IDに対応づけて図示の下記の情報を登録して管理するものである。

- ・利用者ID :
- ・回答アンケートID :
- ・回答日 :
- ・その他 :

以上のように、回答履歴テーブル12を設けて会員(顧客)のアンケート回答済みのアンケートIDと回答日を管理することにより、同一のアンケートIDに続けて回答して手数料の減額を受けてしまい、スポンサー企業に新しい顧客情報が入らない弊害を防止することが可能となる(図2のS6からS8のYES、および対応する明細書の説明参照)。回答日は、所定期間(例えばスポンサー企業が流行に左右され易いサービスの場合には、前回の回答日から比較的短い期間を経過したときに当該エントリを削除して顧客に手数料の減額を許可、あるいは所定期間を経過したときに手数料の減額を許可するようにして回答日を最新に更新する)が、経過したかどうかの判断に用いる。

【0038】図5の(c)は、アンケートマスタの例を示す。アンケートマスタ13は、アンケートIDに対応づけて図示の下記の情報を登録して管理するものである。

- ・アンケートID :
- ・アンケート内容 :
- ・割引額 :
- ・アンケート画面名 :
- ・その他 :

以上のように、アンケートマスタ13を設けてアンケートIDに対応づけてアンケート内容、割引率などを登録して管理することにより、アンケート一覧を表示して顧客から選択して任意のアンケートに回答できると共に、アンケート回答したアンケートIDを既述した図5の(b)の回答履歴テーブル12に登録して会員が連続してアンケート回答して手数料の減額を受け、有意なアンケート回答が得られないのに手数料の減額のみしてしまふ事態を防止などすることが可能となると共に、多数のスポンサー企業のアンケートをまとめて管理することが可能となる。

【0039】図6の(d)は、回答履歴テーブル(アンケート回答後)を示す。図示の回答履歴テーブル12には、既述した図5の(b)の回答履歴テーブル12に対して、■の利用者ID=yamadaがアンケートID=123に、2000 9 11に回答した場合に登録されたものである。

【0040】図6の(e)は、減額テーブルの例を示す。減額テーブル15には、

- ・上段の絶対値で減額を決める場合には、扱い金額が大小に応じて減額(割引率)が500円、200円、100円と小さくなる例を示す。

- ・下段の相対値で減額を決める場合には、扱い金額が大小に応じて減額(割引率)が50%、30%、10%と小さくなる例を示す。

【0041】以上のように、減額テーブル15を設けてサービスの種別に応じて減額あるいは減額率を適宜任意に設定し、サービスの種別に応じて適切な減額を行うことが可能となる。図6の(f)は、サービスデータテーブル(アンケート回答による手数料値引き後)を示す。図示の2エントリでは、右端にそれぞれのサービス内容に応じてアンケート回答した後に減額した減額値を既述した図6の(e)の減額テーブル15を参照して決定し、決定した減額値が保存されている。

【0042】以上のように、サービス処理の内容とその減額値を保存し、顧客の口座などから減額後の手数料を引き落としたりなどすることが可能となると共に、顧客からの手数料の問い合わせに応じて随時、回答することが可能となる。

【0043】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、ホームランキングやトレーディングなどをすると同時にアンケート選択すると手数料を減額して個人情報の効率的な収集を実現することが可能となると共に、スポンサー企業にとってはサービスの提供を求めた顧客から直接にアンケート回答情報を取得でき、しかも、サーバ1出サービスを提供する側ではスポンサー企業から情報料と広告掲載料を聴取でき、サービスの提供の手数料を減額して顧客にサービスすることが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のシステム構成図である。

【図2】本発明の動作説明フローチャートである。

【図3】本発明の画面例(その1)である。

【図4】本発明の画面例(その2)である。

【図5】本発明のテーブル/マスタ例(その1)である。

【図6】本発明のテーブル/マスタ例(その2)である。

【符号の説明】

1、7：サーバ

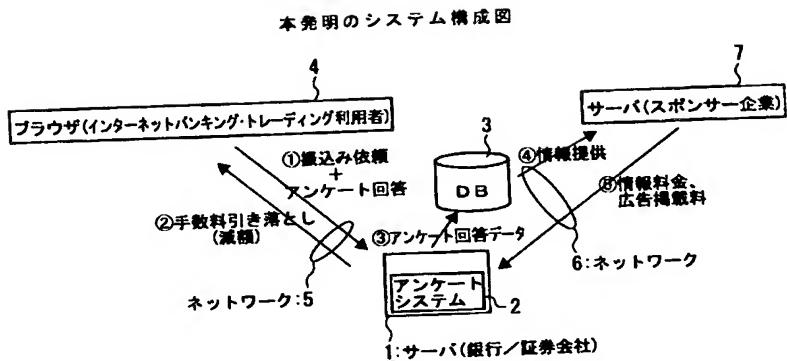
2：アンケートシステム

3：DB(データベース)

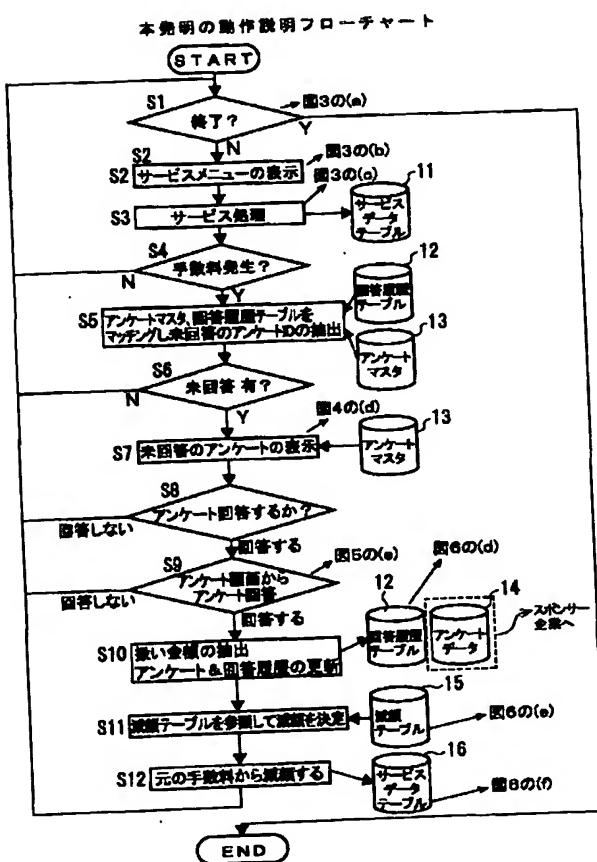
4：ブラウザ

5, 6：ネットワーク

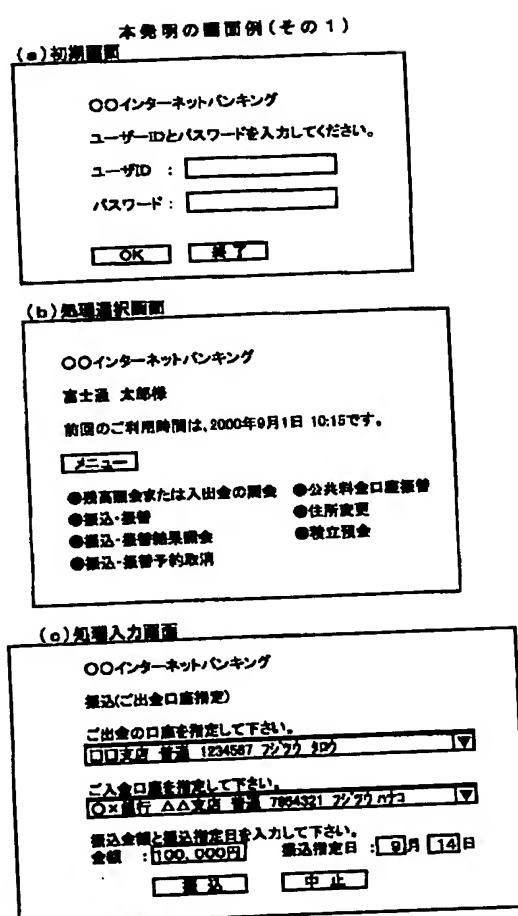
【図1】



【図2】



【図3】



【図6】

本発明のテーブル/マスター例(その2)

(d)回答履歴テーブル(アンケート回答)

12

利用者ID	回答済アンケートID	回答日
...		
...		
...		
karlo	124	2000.9.11
karlo	125	2000.9.11
①→yamada	123	2000.9.11
...		
...		

(e)属性テーブル

15

属性名	属性値(例)
大	500円
中	200円
小	100円
大	50%
中	30%
小	10%

(f)サービスデータテーブル(アンケート回答による手数料値引き表)

16

ID	出金口座情報		入金口座情報		口座名	振込人名	振込金額	振込日	手数料	アンケートID	登録日
	出金口座番号	銀行名	入金口座番号	銀行名							
karlo	1234567890	普通 銀行 支店	0x△△	普通 銀行 支店	普通 7894321	アントワ ル	100,000	2000.9.14	200	125	200
yamada	4567890	普通 銀行 支店	OO□□	普通 銀行 支店	クナカ 8978543	イチロー	200,000	2000.9.15	200	124	100
...											
...											
...											
...											

フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷
G 06 F 17/60

識別記号
3 2 4
3 3 2

F I
G 06 F 17/60

テーマコード(参考)

3 2 4
3 3 2

F ターム(参考) 5B049 BB46 BB47 BB49 CC02 CC05
CC08 CC36 DD01 EE01 EE02
FF03 FF04 GG04 GG07 GG09
5B055 BB20 CB09 CC05 CC10 EE02
EE04 EE05 EE21 EE27 FA01
FA08 FB03 PA02 PA34 PA37
PA38